

インフォームド・コンセントを受けない場合の研究内容の公表用基本フォーマット
情報公開の方法 以下のURLで公開する

URL <https://www.omu.ac.jp/med/liver/>

承認番号	
研究課題名	門脈血栓症治療後における肝予備能や凝固因子の影響および再発予測因子の解明
研究の意義・目的	門脈血栓症は背景となる疾患には肝硬変、悪性腫瘍などがある。肝硬変における門脈血栓症の発症率は2-26%との報告があり、稀な合併症ではないが、合併すると肝予備能や予後が低下するため、治療介入が必要である。2017年8月より門脈血栓症に対してアンチトロンビン（AT）製剤が保険適応となり、治療効果や肝予備能が改善した報告はあるが凝固能についての報告は少ない。 本研究では、門脈血栓症における治療効果予測因子および肝予備能・凝固能への影響の解明を目的とする。
研究を行う期間	承認後～2028年12月31日まで
研究対象者の範囲	2017年1月1日（西暦）～ 2026年12月31日に大阪公立大学医学部附属病院の肝胆膵内科で、門脈血栓の診断または治療のため受診され、入院または通院）された方が対象です。
お願いする内容	大阪公立大学医学部附属病院のみで研究いたします
	検査データ、画像データ、診療記録等
頂いた試料・情報の提供方法	該当しません
頂いた試料・情報の管理について責任者	研究代表者：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 小谷晃平
この研究を行っている施設（共同研究機関）	該当しません
代表施設のURL	https://www.omu.ac.jp/med/liver/
研究の成果を公表する方法	学会・論文・HPなどで公表します
研究に協力をしたくない場合	本研究の対象者の方は下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	実施責任者：小谷 晃平 所属・職名：大阪公立大学大学院医学研究科 肝胆膵病態内科学 住所：大阪市阿倍野区旭町1-4-3 電話番号：06-6645-3905